

# 日本1人当たりGDP20位

## 21年3万9803ドル、順位一つ下げ

内閣府は二十三、二〇二二年の日本の一人当たり名目国内総生産（GDP）がドル換算で三万九千八百三十二となり、経済協力開発機構（OECD）加盟二十八カ国中二十位だったと発表した。金額は前年から〇・五％減少し、順位は一つ下がった。円ベースでは四百三十七万円だった。

1％で四年ぶりに低下した。

首位は欧州有数の金融センターがあるルクセンブルクで、二位はアイルランド、三位スイスと続いた。上位の顔ぶれはここ数年おおよそ変わっていない。米国は七万八千八百一十ドルで五位、韓国は三万四千九百九十八ドルで十二位と、いずれも順位は横ばい。

日本の二一年の名目GDP総額は五兆三千七百億ドルで三位を守ったが、世界全体に占める割合は〇・七％減

の5・2％と、比較可能な一九九四年以降で最小だった。米国は二十三兆三千五百一十億ドルでおよそ四分の一を占め、中国は十七兆七千三百四十一億ドルで1・1％増の18・3％だった。

同時に発表した二一年度の家計貯蓄は二十二兆円で、前年度より十六兆円減少した。家計の可処分所得のうち、消費に回らなかった「家計貯蓄率」は7・